

特定行為研修修了者の声



集中治療室勤務
栄養及び水分管理に係る薬剤投
与関連修了

学びが臨床での大きな力に

『医学モデルを学び、看護の生活モデルでのアセスメント力を向上させたい』、『新人や現任教
育の中で正確な知識や情報を伝えたい』という思いで受講を志望しました。研修では各領域の
教授クラスの医師から直接授業を受けることができ、実践的な知識の定着に繋がりました。集中
治療室では多様な疾患を持つ患者さんが多く、治療も複雑ですが、学んだ知識通りに診療が行わ
れているのを見ると今後の見通しや必要なことが把握できます。また、フィジカルアセスメント
は患者さんから直接情報収集ができるため、研修での学習が臨床で大いに活かされています。



ハイケア勤務
外科術後病棟管理領域
パッケージ

患者さんのため、今後も前進したい

以前所属していた消化器外科病棟では、術後管理やターミナルケア、在宅看護への移行など看護師に求
められる役割は多岐に渡っていました。そんな中よりタイムリーに処置を行いたいと思っていたことも
あり、受講を希望しました。受講をきっかけにハイケア病棟に異動し、研修で学んだ知識を実践の場で
活かすことができます。研修中は勤務と実習で大変でしたが、周囲のサポートもあり乗り切ることが
できました。今後は患者さんのため、今後は患者さんのために能力の向上と共に特定行為修了看護師の活
動を多職種や患者さん、ご家族に理解してもらえよう情報提供を行っていきたいです